

発表項目 (行事名)	道内におけるインフルエンザの流行シーズン入りについて		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○ 道では、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)第14条に基づく、発生動向調査を実施しています。</p> <p>○ インフルエンザについて、流行開始の目安を超えたことから、感染拡大防止に向け、手洗いや咳エチケットを含め、感染予防策の徹底に努めていただきますようお願いいたします。</p> <p>○ 詳細は、別紙のとおり。</p> <p>※ 2024/2025シーズンは、令和6年第36週(9月2日から9月8日の週)から開始。</p>		
参考	<p>○ 全道のインフルエンザ流行状況は、北海道感染症情報センターのホームページでご覧になれます(毎週(金曜)15時更新予定)。 (http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/501/map.html)</p>		

報道(取材)に当たってのお願い	今後、インフルエンザ患者報告数の増加が見込まれるため、道民へのインフルエンザ感染予防対策について、周知願います。		
他のクラブとの関係	同時配布	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	保健福祉部感染症対策局感染症対策課(担当者:錦野)		
	TEL	ダイヤルイン	011-206-0193
		内線	38-952

道内におけるインフルエンザの流行シーズン入りについて

令和6年（2024年）11月22日（金）15:00

北海道保健福祉部感染症対策局感染症対策課
TEL：011-204-5253（内線38-952）

道では、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）第14条に基づく、発生動向調査を実施しています。

令和6年第46週（令和6年11月11日（月）～11月17日（日））において、道内の定点医療機関から286症例の報告があり、定点当たり1.28となり、流行開始の目安である1.00を上回りました。

今後、インフルエンザ患者報告数の増加が見込まれるため、手洗いや咳エチケットを含めた感染予防策の徹底に努めていただきますようお願いいたします。

記

1 定点当たりの報告数

	第42週 (10/14～10/20)	第43週 (10/21～10/27)	第44週 (10/28～11/3)	第45週 (11/4～11/10)	第46週 (11/11～11/17)
全道	0.35	0.50	0.70	0.67	1.28(注)
全国	0.73	0.87	1.04	1.06	1.88
昨年同期（道）	9.19	19.58	24.68	25.78	39.21

※インフルエンザの「流行開始の目安」は、定点当たり1.00超とされています。

注：令和6年第46週の報告は、北海道内の定点医療機関（224箇所）のうち、1医療機関が休診のため、223箇所からの報告。

2 保健所別定点当たりの報告数（第46週）

（単位：人）

保健所	報告数	保健所	報告数	保健所	報告数	保健所	報告数	保健所	報告数
札幌市	1.33	岩見沢	0.13	苫小牧	3.50	上川	0.00	北見	0.43
小樽市	0.60	滝川	0.83	浦河	0.67	名寄	0.40	紋別	0.00
市立函館	0.40	深川	3.67	静内	13.67	富良野	8.00	帯広	0.08
旭川市	0.08	倶知安	0.25	渡島	1.57	留萌	0.33	釧路	2.73
江別	2.38	岩内	2.50	八雲	0.67	稚内	0.13	根室	0.00
千歳	1.00	室蘭	1.13	江差	0.00	網走	0.00	中標津	0.33

※全道のインフルエンザ流行状況は、北海道感染症情報センターのホームページでご覧になれます。

(<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/501/map.html>)

3 インフルエンザの感染拡大を防ぐための対策について

- できるだけ人混みを避け、外出から帰ったら必ず手洗い等をお願いします。
- 十分な栄養と睡眠を心がけ、人にうつさないためにも、発熱や咳等の症状が出た場合は、マスクの着用や咳エチケットに気をつけましょう。
- 適切な湿度（50%～60%）を保ちましょう。
- 感染が疑われる場合は、医療機関の受診をお願いします。

4 インフルエンザの注意報・警報

【発令基準】注意報：定点当たりの報告数が一週間で10人以上

警報： 〃 30人以上

※ 警報発令後は、定点当たりの報告数が10人以上の場合に警報を継続し、下回った場合、警報は自動的に解除されます。その際の解除の発表は行いません。

※ 注意報・警報の発令は、各保健所毎に行います。

- ・ 注意報： 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。
- ・ 警報： 大きな流行の発生が継続しつつあると疑われることを指します。